



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社秋田銀行

コード番号 8343 URL <https://www.akita-bank.co.jp>

代表者 （役職名） 取締役頭取 （氏名） 芦田 晃輔

問合せ先責任者 （役職名） 経営企画部長 （氏名） 碓屋 茂樹

TEL 018-863-1212

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満、小数点第1位未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,123	0.3	4,440	44.5	3,551	48.7
2026年3月期第1四半期	16,072	24.8	3,071	30.0	2,388	41.5

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 11,101百万円（△2.1％） 2026年3月期第1四半期 11,343百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	199.31	ー
2026年3月期第1四半期	134.83	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,680,208	188,727	5.1
2026年3月期	3,576,817	179,304	4.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 187,968百万円 2026年3月期 178,550百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	ー	75.00	ー	100.00	175.00
2027年3月期	ー				
2027年3月期（予想）		100.00	ー	100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,900	23.2	4,600	17.7	258.94
通期	13,100	16.4	8,500	10.5	478.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	18,093,643株	2026年3月期	18,093,643株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	227,541株	2026年3月期	295,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	17,817,790株	2026年3月期1Q	17,717,522株

(注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数（2027年3月期1Q112,674株、2026年3月期113,800株）及びESOP信託が保有する当行株式数（2027年3月期1Q0株、2026年3月期67,900株）を含めております。

また、期中平均株式数を算定するにあたり、BIP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2027年3月期1Q113,651株、2026年3月期1Q108,604株）及びESOP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2027年3月期1Q47,602株、2026年3月期1Q119,958株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7
(参考) 2027年3月期 第1四半期決算の状況（四半期決算補足説明資料）	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、株式等売却益は減少したものの資金運用収益の増加により、前年同期比51百万円増加し161億23百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損・償還損の減少により、13億18百万円減少し116億83百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比13億69百万円増加し44億40百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比11億63百万円増加し35億51百万円となりました。

セグメント別の業績については、銀行業務は、経常収益が前年同期比1億62百万円増加の151億34百万円、経常利益は13億74百万円増加の47億43百万円となりました。

リース業務は、経常収益が前年同期比93百万円減少の12億59百万円、経常利益は2百万円減少の42百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総預金（譲渡性預金を含む。）

個人、法人および公金預金の増加により、前連結会計年度末比837億円増加し、3兆2,905億円となりました。

貸出金

事業先向け貸出は減少したものの、個人ローンや国・地公体向け貸出が増加したことにより、前連結会計年度末比266億円増加し、2兆1,521億円となりました。

有価証券

前連結会計年度末比358億円増加し、9,395億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2026年5月14日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	369,134	388,302
コールローン及び買入手形	101,454	117,629
買入金銭債権	6,064	6,010
金銭の信託	—	2,011
有価証券	903,759	939,552
貸出金	2,125,529	2,152,149
外国為替	2,884	2,596
その他資産	35,492	37,734
有形固定資産	17,325	17,325
無形固定資産	919	993
退職給付に係る資産	20,757	20,869
繰延税金資産	315	327
支払承諾見返	8,493	8,503
貸倒引当金	△15,312	△13,795
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,576,817	3,680,208
負債の部		
預金	3,156,067	3,195,210
譲渡性預金	50,808	95,317
コールマネー及び売渡手形	366	1,182
債券貸借取引受入担保金	10,862	—
借入金	141,868	140,081
外国為替	204	239
その他負債	21,390	42,336
役員賞与引当金	20	—
退職給付に係る負債	164	140
役員退職慰労引当金	28	23
株式給付引当金	116	123
睡眠預金払戻損失引当金	148	141
偶発損失引当金	775	630
繰延税金負債	4,707	6,062
再評価に係る繰延税金負債	1,491	1,487
支払承諾	8,493	8,503
負債の部合計	3,397,512	3,491,480
純資産の部		
資本金	14,100	14,100
資本剰余金	9,212	9,212
利益剰余金	141,452	143,212
自己株式	△774	△650
株主資本合計	163,991	165,875
その他有価証券評価差額金	△3,743	2,432
繰延ヘッジ損益	5,402	7,058
土地再評価差額金	2,857	2,850
退職給付に係る調整累計額	10,042	9,751
その他の包括利益累計額合計	14,558	22,093
非支配株主持分	754	759
純資産の部合計	179,304	188,727
負債及び純資産の部合計	3,576,817	3,680,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
経常収益	16,072	16,123
資金運用収益	9,043	11,924
(うち貸出金利息)	5,760	7,210
(うち有価証券利息配当金)	2,505	3,552
役務取引等収益	1,734	1,836
その他業務収益	1,385	1,229
その他経常収益	3,908	1,132
経常費用	13,001	11,683
資金調達費用	1,433	2,764
(うち預金利息)	1,238	2,040
役務取引等費用	503	460
その他業務費用	4,901	2,501
営業経費	5,551	5,683
その他経常費用	609	274
経常利益	3,071	4,440
特別利益	0	—
固定資産処分益	0	—
特別損失	2	42
固定資産処分損	2	42
税金等調整前四半期純利益	3,069	4,397
法人税、住民税及び事業税	216	325
法人税等調整額	459	515
法人税等合計	676	841
四半期純利益	2,393	3,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,388	3,551

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,393	3,555
その他の包括利益	8,950	7,545
その他有価証券評価差額金	8,829	6,180
繰延ヘッジ損益	259	1,655
退職給付に係る調整額	△138	△291
四半期包括利益	11,343	11,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,339	11,092
非支配株主に係る四半期包括利益	3	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	14,575	1,299	15,874	213	16,087	△15	16,072
セグメント間の 内部経常収益	397	53	451	106	557	△557	—
計	14,972	1,352	16,325	319	16,645	△572	16,072
セグメント利益	3,369	44	3,414	68	3,483	△411	3,071

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運営業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△411百万円は、セグメント間取引消去による減額411百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	14,744	1,202	15,947	208	16,155	△32	16,123
セグメント間の 内部経常収益	389	56	445	111	557	△557	—
計	15,134	1,259	16,393	320	16,713	△589	16,123
セグメント利益	4,743	42	4,785	57	4,843	△402	4,440

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運営業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△402百万円は、セグメント間取引消去による減額402百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	293百万円	282百万円

(参 考)2027年3月期 第1四半期決算の状況

1. 損益の状況(単体)

(単位:百万円)

2027年3月期
第2四半期予想値
(6か月累計)

		当第1四半期(A) (2027年3月期)	前第1四半期(B) (2026年3月期)	比 較 (A)-(B)
経 常 収 益	1	15,134	14,972	162
①業 務 粗 利 益	2	9,326	5,381	3,945
コア業務粗利益(①-②)	3	10,696	8,991	1,705
資 金 利 益	4	9,540	7,994	1,546
役 務 取 引 等 利 益	5	1,132	976	156
そ の 他 業 務 利 益	6	△ 1,346	△ 3,589	2,243
(②うち国債等債券損益)	7	△ 1,369	△ 3,610	2,241
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	8	5,471	5,328	143
人 件 費	9	2,774	2,755	19
物 件 費	10	2,203	2,098	105
税 金	11	493	475	18
コア業務純益(③-②)	12	5,225	3,663	1,562
コア業務純益(除く投信解約損益)	13	5,225	3,663	1,562
③実 質 業 務 純 益	14	3,855	52	3,803
④一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	15	△ 99	△ 88	△ 11
業 務 純 益	16	3,954	140	3,814
臨 時 損 益	17	788	3,228	△ 2,440
⑤ 不 良 債 権 処 理 額	18	△ 329	△ 508	179
うち個別貸倒引当金繰入額	19	△ 344	△ 513	169
株 式 等 関 係 損 益	20	△ 40	2,464	△ 2,504
そ の 他 臨 時 損 益	21	499	256	243
経 常 利 益	22	4,743	3,369	1,374
特 別 損 益	23	△ 42	△ 2	△ 40
うち固定資産処分損益	24	△ 42	△ 2	△ 40
うち減損損失	25	—	—	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益	26	4,700	3,367	1,333
法人税、住民税及び事業税	27	295	175	120
法 人 税 等 調 整 額	28	523	472	51
法 人 税 等 合 計	29	818	648	170
四 半 期 (中 間) 純 利 益	30	3,881	2,718	1,163
与 信 関 係 費 用 (④ + ⑤)	31	△ 428	△ 596	168

7,100

4,800

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○ コア業務純益は、前年同期比 1,562 百万円増加し 5,225 百万円となりました。(増加率 42.6%)

貸出金利息、有価証券利息の増加が、預金・譲渡性預金支払利息の増加を上回り、資金利益が増加したことが主因です。

貸出金利息	7,231 百万円	前年同期比	+1,457 百万円
有価証券利息	3,905 百万円	前年同期比	+1,034 百万円
預金・譲渡性預金支払利息	2,126 百万円	前年同期比	+842 百万円

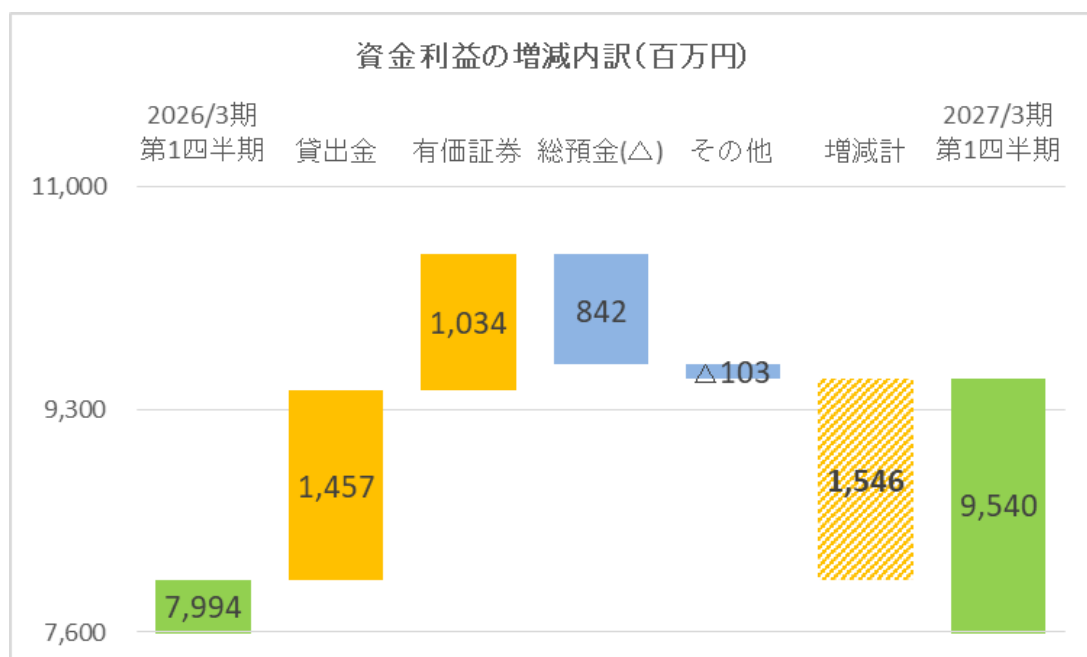
○ 経常利益は、1,374 百万円増加し 4,743 百万円となりました。(増加率 40.7%)

株式等関係損益は悪化し与信関係費用は増加したものの、本業面でのコア業務純益の増加に加え、国債等債券損益の好転が増益に寄与しました。

○ 四半期純利益は、1,163 百万円増加し 3,881 百万円となりました。(増加率 42.7%)

資金利益

- 貸出金、有価証券ともに平均残高の増加と利回り上昇により、利息収入はそれぞれ 1,457 百万円、1,034 百万円の増加となりました。
- 一方で支払預金利息も 842 百万円増加しましたが、資金利益合計では前年同期比 1,546 百万円増加して 9,540 百万円となりました。(増加率 19.3%)



平均残高 (億円)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増減
貸出金	20,605	21,284	679
有価証券	8,626	9,620	994
総預金	32,060	32,418	358

利回り (%)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増減
貸出金	1.12	1.36	0.24
有価証券	1.33	1.62	0.29
総預金	0.16	0.26	0.10

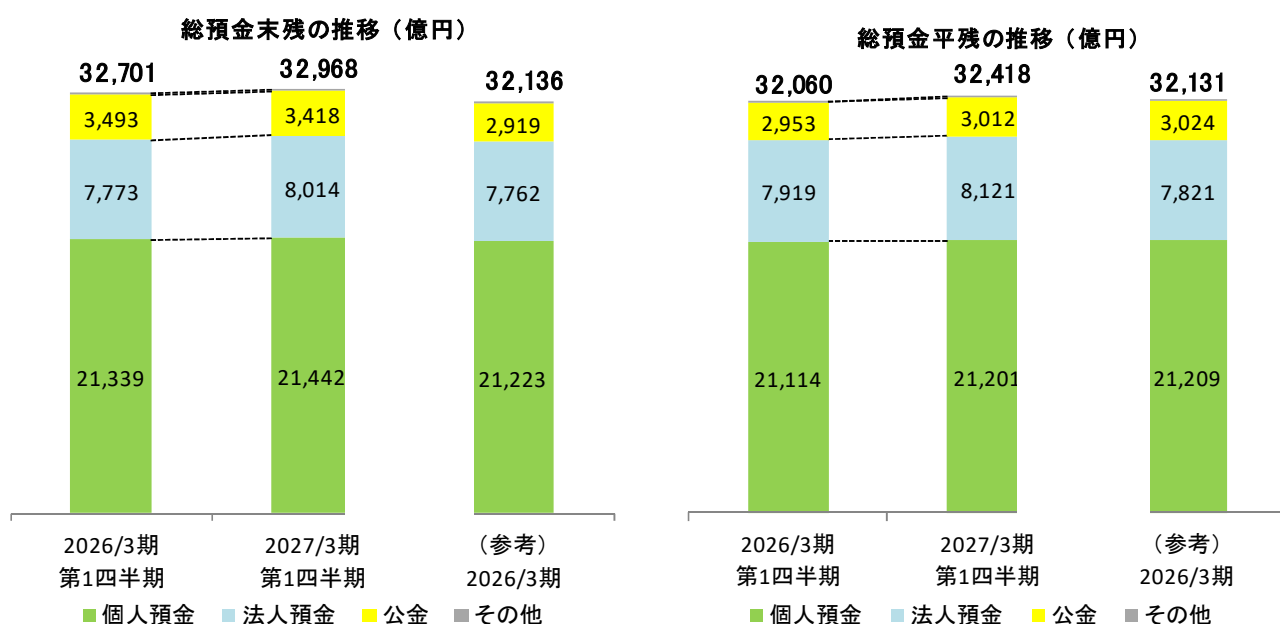
2. 総預金残高(譲渡性預金を含む)(単体)

- 総預金末残は、公金預金は減少したものの個人預金や法人預金の増加により、前年同月末(2025 年 6 月末)比 267 億円増加し 3 兆 2,968 億円となりました。(増加率 0.8%)
- 平均残高は、個人預金、法人預金および公金預金の増加により、前年同期比 358 億円増加し 3 兆 2,418 億円となりました。(増加率 1.1%)

(単位:億円)

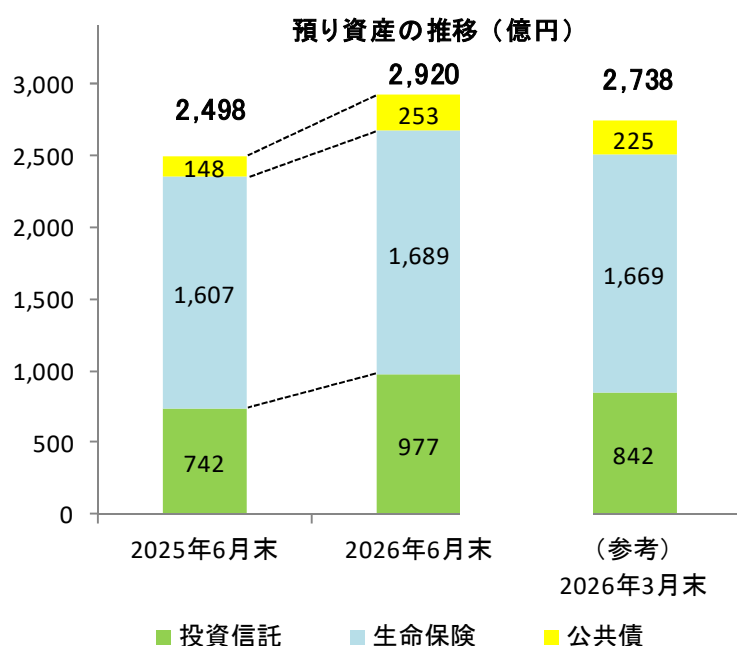
	2027/3期 第1四半期	2026/3期 第1四半期比	2026/3期比	2026/3期 第1四半期	2026/3期
総預金末残	32,968	267	832	32,701	32,136
総預金平残	32,418	358	287	32,060	32,131

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。



3. 預り資産(単体)

○ 投資信託、生命保険および公共債の増加により、預り資産の残高は前年同月末比(2025年6月末)比422億円増加し2,920億円となりました。(増加率16.8%)



(単位: 億円)

	2026年 6月末	2025年 6月末比	2026年 3月末比	2025年 6月末	2026年 3月末
公 共 債	253	105	28	148	225
投 資 信 託	977	235	135	742	842
生 命 保 険	1,689	82	20	1,607	1,669
合 計	2,920	422	182	2,498	2,738

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

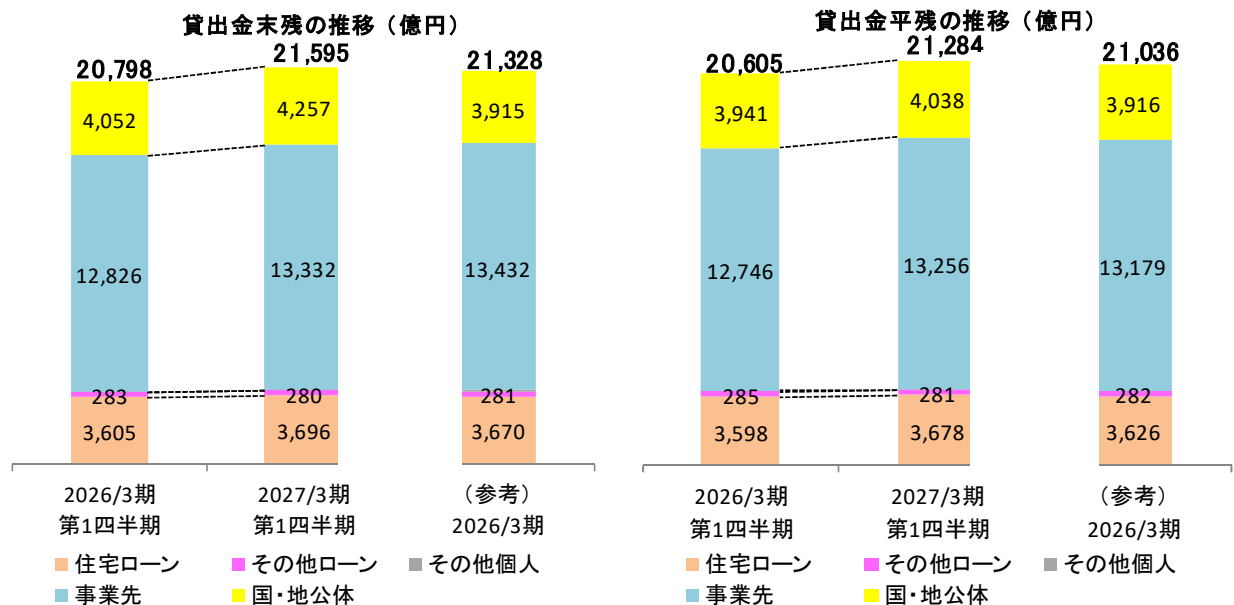
4. 貸出金残高(単体)

- 貸出金末残は、個人ローン、事業先向け貸出、国・地公体向け貸出とともに増加し、前年同月末(2025年6月末)比 797 億円増加し 2 兆 1,595 億円となりました。(増加率 3.8%)
- 平均残高も、個人ローン、事業先向け貸出、国・地公体向け貸出とともに増加し、前年同期比 679 億円増加し 2 兆 1,284 億円となりました。(増加率 3.2%)

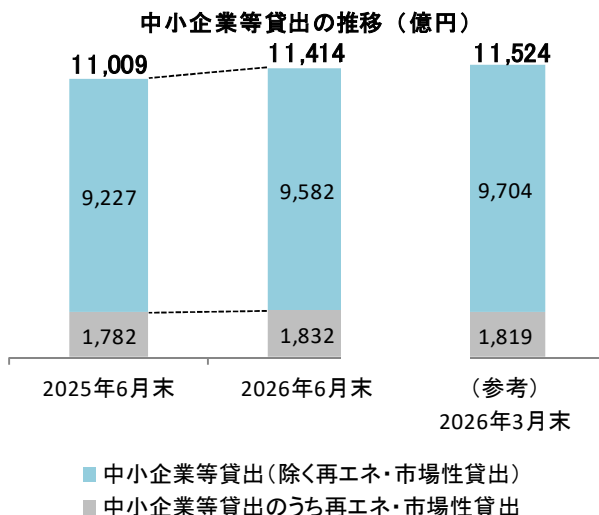
(単位:億円)

	2027/3期 第1四半期	2026/3期 第1四半期比	2026/3期比	2026/3期 第1四半期	2026/3期
貸出金末残	21,595	797	267	20,798	21,328
貸出金平残	21,284	679	248	20,605	21,036

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

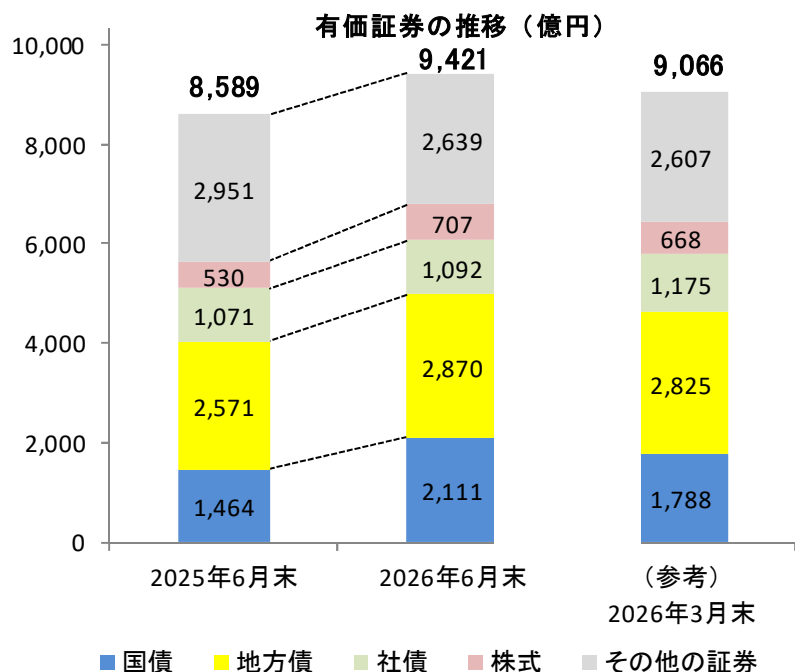


- 中小企業等貸出は、前年同月末比 405 億円増加し 1 兆 1,414 億円となりました。(増加率 3.6%)
- このうち、再生可能エネルギー関連貸出や市場性貸出を除く中小企業等貸出については、前年同月末比 355 億円増加し 9,582 億円となりました。(増加率 3.8%)



5. 有価証券残高(単体)

○ 国債、地方債、社債および株式の運用残高が増加したことを主因に、有価証券は前年同月末(2025 年 6 月末)比 832 億円増加し 9,421 億円となりました。(増加率 9.6%)
 前期末(2026 年 3 月末)比では 355 億円の増加となりました。(増加率 3.9%)



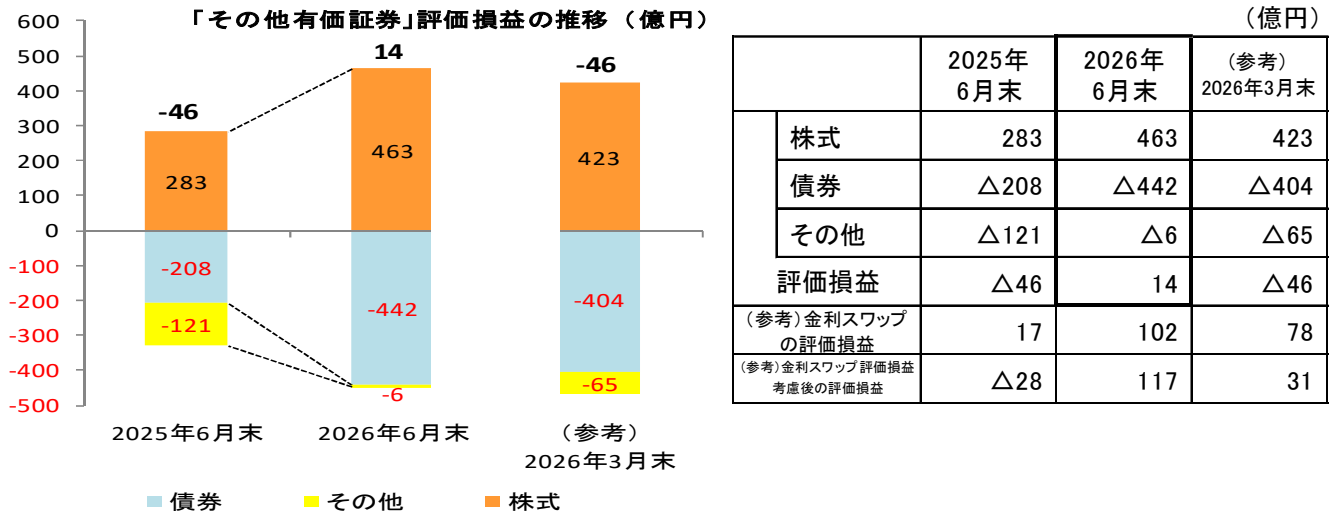
(単位:億円)

	2026年 6月末	2025年 6月末比	2026年 3月末比	2025年 6月末	2026年 3月末
国 債	2,111	647	323	1,464	1,788
地 方 債	2,870	299	45	2,571	2,825
社 債	1,092	21	△83	1,071	1,175
株 式	707	177	39	530	668
その他の証券	2,639	△312	32	2,951	2,607
合 計	9,421	832	355	8,589	9,066

- その他有価証券の評価差額は、株式の評価損益の好転を主因に、前年同月末(2025年6月末)比 60 億円好転し 14 億円の評価益となりました。

前期末(2026年3月末)比では、株式およびその他の好転により 60 億円の好転となりました。

なお、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、繰延ヘッジ考慮後の評価損益につきましては前年同月末比 145 億円好転し 117 億円の評価益となりました。



	2026年6月末					2025年6月末			2026年3月末		
	評価差額					評価差額			評価差額		
		2025年 6月末比	2026年 3月末比	うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他 有価証券	14	60	60	569	555	△ 46	322	368	△ 46	485	531
株式	463	180	40	465	1	283	286	2	423	425	2
債券	△ 442	△ 234	△ 38	0	442	△ 208	2	210	△ 404	0	404
その他	△ 6	115	59	103	110	△ 121	33	155	△ 65	59	124

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

- 有価証券関係損益は、国債等債券売却損は減少したものの、株式等売却益の減少が国債等債券売却損の減少を上回ったことから、前年同期比 3 億円減少し△14 億円となりました。

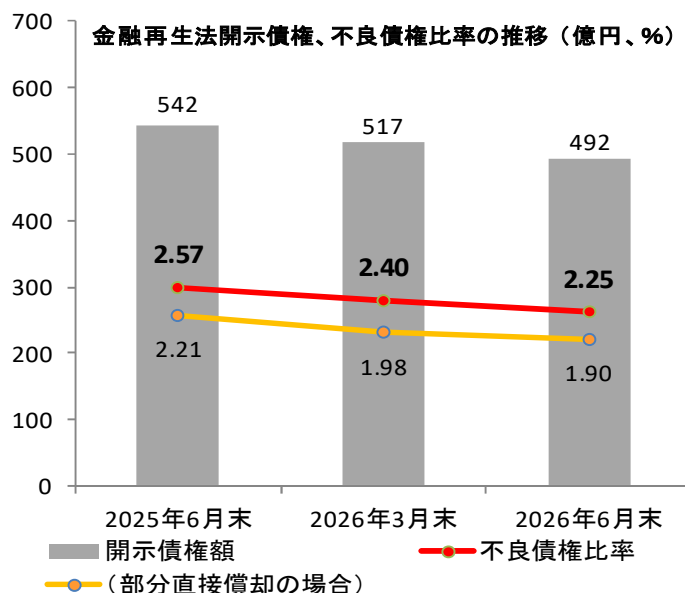
(単位:億円)				
	2027/3期 第1四半期	2026/3期 第1四半期	2026/3期 第1四半期比	2026/3期
国債等債券損益	△13	△36	23	△113
売却益・償還益	0	0	0	1
売却損(△)	13	28	△15	77
償還損・償却(△)	0	8	△8	37
株式等関係損益	0	24	△24	38
売却益	0	28	△28	43
売却損(△)	0	4	△4	4
償却(△)	0	0	0	0
有価証券関係損益	△14	△11	△3	△75

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

6. 金融再生法開示債権(単体)

- 金融再生法開示債権は前年同月末(2025年6月末)比50億円減少したことから、不良債権比率は0.32ポイント低下して2.25%になりました。
- 部分直接償却を実施した場合の不良債権比率は1.90%になりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。



(単位:億円)

	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	98	△ 2	△ 17	100	115
危険債権	374	△ 43	△ 7	417	381
要管理債権	19	△ 6	△ 2	25	21
合 計(A)	492	△ 50	△ 25	542	517
対象債権(B)	21,809	790	275	21,019	21,534
不良債権比率(A)/(B)	2.25 %	△ 0.32 %	△ 0.15 %	2.57 %	2.40 %

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の債権額残高は次のとおりであります。

(単位:億円)

	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	21	△ 1	△ 2	22	23
危険債権	374	△ 43	△ 7	417	381
要管理債権	19	△ 6	△ 2	25	21
合 計(A)	415	△ 49	△ 11	464	426
対象債権(B)	21,732	791	289	20,941	21,443
不良債権比率(A)/(B)	1.90 %	△ 0.31 %	△ 0.08 %	2.21 %	1.98 %

7. 自己資本比率(国内基準)

2026 年 6 月末の自己資本比率(国内基準)については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。
(以 上)